



岩崎 正春議員

## 学習指導要領について

Q 2013年に実施された本町の全国学力テストなどに見える効果、あるいは学力テスト以外での変化や傾向など、調査結果は。

教育長 全面实施して2年ないし3年たちます。が、新学習指導要領の効果についての調査等を行っておりません。ご指摘の全国学力・状況調査からも、まだその効果が十分見えていない状況です。

Q 世界遺産などジオパークも含みますが、この当地域において、地域を知る学習の機会や体験学習などはどのように行っているか。

教育長 下仁田町には、日本ジオパークに認定されている、特色ある地形、地質構造など見どころがたくさんあります。また、荒船風穴は、富岡製糸場と絹産業遺産群として世界文化遺産に登録されるのがほぼ間違いありません。ねぎとこんにゃくは、下仁田の名産として知られています。林業も盛んです。このような下仁田町は、自然、産業、歴史、文化等、地域素材に大変恵まれていると思っております。これらの地域素材を教育に取り入れ、学んでもらうことは、将来を担う子供たちが郷土のすばらしさを実感し、郷土に愛着を感じ、誇りに思う気持ちを育てるために大切なことと考えています。

Q 道徳教育の現状は。

教育長 道徳教育の充実については、新しい学習指導要領の教育内容の改善の一つにもなっている。学校では、新しい学習指導要領を受けて、全体計画、それから年間指導計画を見直して、道徳の教育の改善に努めており

ます。特に小学校では、今回の改訂で、挨拶などの基本的な生活習慣、人間としてしてはならないこと、法や決まりの意義など、中学校では、主体的に社会の形成に参画するなど、指導の重点化を図っています。

Q ステップアップ

ティーチャアの制度をうまく活用されている



授業風景

ます。特に小学校では、今回の改訂で、挨拶などの基本的な生活習慣、人間としてしてはならないこと、法や決まりの意義など、中学校では、主体的に社会の形成に参画するなど、指導の重点化を図っています。

Q 授業について

教育長 授業については、けない児童生徒への対応も含めて、学校では、一人一人によりきめ細かな指導ができるように、指導の工夫をしています。今年度は小中学校に、学力向上のた

## 行政力強化について

Q 町長は、平成20年12

月に町長に返り咲いて、早3期目となるわけです。今や世界遺産やジオパークなど町長の多忙な政務に、思い切って、指揮命令系統をしつかりさせるためにも腹心を置かれてはという声も、町民の間で多く聞かれるようになりました。

町長 観光を一つにとりまして、やはりいろいろな知恵をおかりし

めに特別に教員を1名ずつ加配してもらっている。その加配教員を活用して、算数、数学科では、少人数指導やチームティーチングなどの指導を行っています。



て来場者に、その期待に応えるということ、は、1人よりも2人、2人より3人、大勢の方々のご協力とご指導を賜らなきゃならない。そういう面と同時に、やはり1人ではできる範囲が決まっておりますので、必要性を鑑み、副町長の選任も必要であろうという理解は、心の中ではございます。